

- 問1 ヨーロッパ連合（EU）の加盟国の多くでは、国境付近において、車や人が遮るものなく自由に往来する光景が見られます。このように、加盟国間での国境検査を廃止し、パスポートなしで国境を通過できるようにした取り決めを何とといいますか。 （2025年 青森県公立入試 類似）
1. 共通通貨ユーロの導入
 2. アムステルダム条約
 3. シェンゲン協定
 4. マーストリヒト条約
- 問2 北緯約49度に位置するフランスのパリと、北緯約43度に位置する日本の札幌の統計データを比較したとき、パリの気候の特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。 （2017年 香川県公立入試 類似）
1. 札幌よりも北に位置しているが、冬の気温は札幌よりも高く、年間の降水量の変動も小さい
 2. 札幌よりも北に位置しているため、冬の気温は札幌よりも大幅に低く、夏に降水量が集中する
 3. 季節風の影響を強く受けるため、札幌に比べて夏と冬の気温差が非常に大きい
 4. 寒流の影響を強く受けるため、一年を通じて降水量が少なく、札幌よりも乾燥している
- 問3 各国の電源構成において、発電量全体に占める割合がフランスでは原子力が約七割弱と最も多く、日本では火力が約七割弱と最も多くなっているという統計があります。このようなフランスと日本の電源構成の特徴を正しく説明しているものはどれですか。 （2025年 京都府公立入試 類似）
1. フランスと日本はともに、太陽光や風力などの再生可能エネルギーが発電量の七割以上を占めている。
 2. フランスは水力発電が電源の約七割を占めるが、日本は原子力発電を最も主要なエネルギー源としている。
 3. フランスは原子力発電を主力としているが、日本は石炭や天然ガスなどを用いる火力発電を主力としている。
 4. フランスは火力発電を主な電源としているが、日本はアルプス山脈のような地形を活かした水力発電が中心である。
- 問4 統計資料において、1人あたりの国民総所得が非常に高く、輸出額の大部分を自動車や機械類などの工業製品が占めている、ヨーロッパ最大の工業国に該当する国を選びなさい。 （2023年 新潟県公立入試 類似）
1. 南アフリカ共和国
 2. ドイツ
 3. マレーシア
 4. ブラジル
- 問5 ノルウェーの沿岸部において、海岸線が非常に複雑に入り組んでいる様子が見られます。この、氷河による浸食を受けてできた深く鋭い谷に海水が入り込んで形成された地形の名称を選びなさい。 （2020年 岩手県公立入試 類似）
1. デルタ（三角州）
 2. フィヨルド
 3. リアス海岸
 4. カルスト地形
- 問6 ヨーロッパ州の大西洋沿岸から大陸内部にかけて、一年中、西から東に向かって吹いている風を何とといいますか。 （2025年 沖縄県公立入試 類似）
1. 上昇気流
 2. 貿易風
 3. 季節風（モンスーン）
 4. 偏西風
- 問7 ヨーロッパの中南部に位置し、イタリア北部からスイス、フランス、オーストリアにかけて広がる、標高4000メートル級の険しい山々が東西に連なる山脈の名前として正しいものはどれですか。 （2026年 兵庫県公立入試 類似）
1. ウラル山脈
 2. スカンディナビア山脈
 3. ピレネー山脈
 4. アルプス山脈
- 問8 スペインやイタリアなどの地中海沿岸地域では、夏の乾燥に強いオリーブやブドウなどの樹木作物を栽培し、冬の降水を利用して小麦を栽培する農業が発達している。このような気候条件に適応した農業形態を何というか。 （2021年 沖縄県公立入試 類似）
1. 地中海式農業
 2. オアシス農業
 3. 酪農
 4. 混合農業
- 問9 2022年のフランスにおける発電方法別の割合を整理したデータによると、ある発電方法が全発電量の6割を超える圧倒的なシェアを占めています。火力、水力、風力、太陽光といった他の供給量を大きく引き離し、フランスの電力供給の核となっているエネルギー源は何ですか。 （2026年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 水力発電
 2. 原子力発電
 3. 地熱発電
 4. 火力発電
- 問10 国土の大部分が冷帯（亜寒帯）に属し、内陸部では冬の寒さが厳しく降水量が少ない気候の特徴を持つ国があります。この国において、米やとうもろこしの生産量が極端に少なく、小麦の生産が盛んである理由として最も適切な説明はどれですか。 （2016年 東京都公立入試 類似）
1. 小麦は熱帯の多雨な地域での栽培に適しているから
 2. 小麦は耐寒性があり、冷涼な気候でも栽培が可能だから
 3. 乾燥帯において大規模な灌漑施設が整備されているから
 4. 温帯の地中海性気候を利用して冬の降水で栽培を行うから
- 問11 地中海沿岸の地域において、夏の乾燥した気候条件に適応した農業のあり方を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 （2025年 北海道公立入試 類似）
1. 一年を通じて雨が多いため、偏西風の影響を利用して牧草を育て、乳牛を飼育する。
 2. 夏の涼しい気候と湿潤な環境を生かして、野菜の成長を早める促成栽培を行う。
 3. 冬の乾燥を防ぐために大規模な灌漑施設を整え、夏に主食となる稲作を行う。
 4. 乾燥に強いオリーブやブドウ、耐暑性のあるオレンジなどの果樹栽培を中心に行う。
- 問12 ヨーロッパの地形について述べた次の文のうち、フィヨルドの特徴や分布を正しく説明しているものはどれですか。 （2020年 岐阜県公立入試 類似）
1. スカンジナビア半島の西側に発達しており、海岸線から数十km以上も奥まで海水が入り込んでいる場所がある。
 2. アルプス山脈のふもとに位置し、石灰岩が溶食されてできたドリーネやウバーレといった窪地が連続している。
 3. イタリア半島の南部に多く見られ、温暖な気候を利用したオリーブの栽培が海岸沿いで盛んに行われている。
 4. ライン川の下流に位置するオランダで見られ、海を干拓して造られたポルダーと呼ばれる広大な平地を指す。
- 問13 ヨーロッパ連合（EU）が、域内での経済的な結びつきを強め、人や物の移動をより円滑にすることを目的として導入した共通通貨の名称を答えなさい。 （2014年 和歌山県公立入試 類似）
1. ユーロ
 2. ドル
 3. フラン
 4. ポンド
- 問14 ノルウェーの海岸線において、氷河によって削られた深い谷に海水が入り込んでできた、複雑に折れ曲がった入り江を何と呼びますか。最も適切な名称を選びなさい。 （2023年 三重県公立入試 類似）
1. 砂丘
 2. リアス海岸
 3. フィヨルド
 4. カルスト地形

答え合わせ・解説

問1	答え 3 シェンゲン協定	ヨーロッパの多くの国々で、国境での検査なしに自由に移動できるようにした取り決めをシェンゲン協定といいます。国境検問所での一時停止やパスポート提示が不要となり、人や物の移動が活発化しました。選択肢にある「共通通貨ユーロ」は経済的な統合に関わるものであり、国境通過の手続きそのものとは異なる概念です。
問2	答え 1 札幌よりも北に位置しているが、冬の気温は札幌よりも高く、年間の降水量の変動も小さい	パリは札幌よりも高い緯度にあります。北大西洋海流（暖流）と偏西風の影響により、冬の寒さが和らげられています。これに対し、札幌は大陸からの季節風の影響を強く受けるため冬の寒さが厳しく、パリの方が冬の気温は高くなります。また、パリが属する西岸海洋性気候は、一年を通じて偏西風の影響を受けるため、月ごとの降水量の変化が少なく、グラフの起伏が緩やかになるという特徴があります。
問3	答え 3 フランスは原子力発電を主力としているが、日本は石炭や天然ガスなどを用いる火力発電を主力としている。	フランスは世界的に見ても原子力発電の割合が非常に高い国であり、統計では約68.3%に達しています。一方、日本は火力発電の割合が約68.7%と最も高く、原子力発電は約6.7%、水力発電は約8.5%にとどまっています。国によって資源の有無や政策方針が異なるため、電源構成には大きな違いが見られます。
問4	答え 2 ドイツ	ドイツはヨーロッパにおける高度な工業国であり、自動車や機械、化学製品などの付加価値の高い工業製品を多く輸出しています。経済規模が大きく、ブラジルや南アフリカ共和国などの新興国と比較すると、1人あたりの国民総所得が極めて高い水準にあるのが大きな特徴です。
問5	答え 2 フィヨルド	北ヨーロッパのスカンディナビア半島などで見られる、氷河によって削り取られたU字状の深い谷が海水に沈んでできた地形をフィヨルドと呼びます。これに対し、リアス海岸は山地が海に沈んでできたもので、成因に氷河は関係しません。デルタは河川の堆積作用、カルスト地形は石灰岩の溶食作用によるものです。
問6	答え 4 偏西風	中緯度地帯の上空を一年中西から東へと吹く風を偏西風と呼びます。ヨーロッパ州は大西洋側に位置しているため、この風が海からの空気を大陸へと運び役割を果たしています。
問7	答え 4 アルプス山脈	イタリア北部から周辺国にかけて広がるこの山脈は、新期造山帯に属しており、標高4000メートルを超える山々が連なる険しい地形が特徴です。北欧のノルウェーなどで見られる、氷河によって削られた複雑な入り江である「フィヨルド」とは、その形成過程や位置が明確に異なります。
問8	答え 1 地中海式農業	地中海沿岸地域は温帯の「地中海性気候」に属し、夏に雨が少なく乾燥し、冬に一定の降水があるのが特徴です。この特殊な気候に合わせ、夏は乾燥に強いオリーブや果物、冬は小麦を育てる形態を地中海式農業と呼びます。オアシス農業は砂漠地帯、混合農業は穀物栽培と家畜の飼育を組み合わせたもので主に西欧で見られ、酪農は牧草地を活かして乳牛を飼育するものです。
問9	答え 2 原子力発電	フランスの電源構成において、原子力発電は62パーセント以上の割合を占める最も主要なエネルギー源です。これは、資源の乏しいフランスがエネルギー供給を安定させるために選択した独自の政策によるものです。地理の統計問題において、発電電力量のうち原子力の割合が極端に高いグラフや記述があれば、それはフランスを指していると判断できるほど大きな特徴となっています。
問10	答え 2 小麦は耐寒性があり、冷涼な気候でも栽培が可能だから	ロシアは広大な国土を持ちますが、その多くが冷帯（亜寒帯）に位置しています。モスクワなどの内陸部では1月の気温がマイナス10度を下回るなど冬の寒さが厳しく、年降水量も約600mm弱と決して多くありません。このような厳しい環境下では、成長に温暖な気候や多くの水分を必要とする米やとうもろこしの栽培は困難ですが、寒さに強い作物である小麦の生産には適しているため、主要な穀物生産品目となっています。
問11	答え 4 乾燥に強いオリーブやブドウ、耐暑性のあるオレンジなどの果樹栽培を中心に行う。	地中海性気候の最大の特徴は、夏に亜熱帯高圧帯の影響で降水量が極端に少なくなることです。この厳しい乾燥に耐えられるよう、葉が小さく硬いオリーブや、根を深く張るブドウなどの樹木作物の栽培が発展しました。選択肢にある「一年を通じて雨が深い」特徴は西岸海洋性気候のものであり、「促成栽培」は気候を利用して出荷時期を調整する日本の事例などでよく見られる用語です。
問12	答え 1 スカンジナビア半島の西側に発達しており、海岸線から数十km以上も奥まで海水が入り込んでいる場所がある。	フィヨルドは、かつて大陸氷河が発達していた高緯度地域に多く見られます。ヨーロッパでは特にスカンジナビア半島のノルウェー沿岸が有名で、非常に奥行きが深く、水深も深い湾が形成されています。これにより、大型客船が湾の奥まで入り込むことができ、観光資源としても活用されています。なお、石灰岩の溶食による地形は「カルスト地形」と呼ばれます。
問13	答え 1 ユーロ	ヨーロッパ連合（EU）では、加盟国間での貿易を活発にし、経済統合を進めるために共通通貨であるユーロを導入しました。これにより、国を越えて移動する際の両替の手間や手数料が省けるようになりました。イギリス（現在は離脱）のようにEU加盟時でも独自の通貨であるポンドを使い続けた国もあり、すべての加盟国が導入しているわけではありません。
問14	答え 3 フィヨルド	スカンディナビア半島の大西洋側に位置するノルウェーなどで顕著に見られる、氷河侵食による入り江はフィヨルドと呼ばれます。非常に水深が深く、海岸から山が切り立っているのが特徴で、天然の良港となったり観光資源として利用されたりしています。スペインの西北部や日本の三陸海岸に見られるのはリアス海岸であり、成因が異なります。